

第10回全日本女子総合ドッジボール選手権 大会要項

- 主催：一般財団法人日本ドッジボール協会
- 後援：（すべて申請予定）スポーツ庁、石川県、金沢市、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本レクリエーション協会、北國新聞社、テレビ金沢、MR0北陸放送
- 協力：（全て予定）金沢文化スポーツコミッション、株式会社ミカサ、株式会社モルテン、株式会社共同写真企画、株式会社プロフォートサニー、株式会社フィス、株式会社アンフィニプロジェクト、株式会社東横イン、北國観光株式会社
- 期日：2023年12月3日(日) 9:00～17:00（チーム受付8:20～8:35）
- 会場：いしかわ総合スポーツセンター
〒920-0355 石川県金沢市稚日野町北222番地 TEL.076-268-2222
- 出場チーム数：D-1Gの部32チーム、S-1Gの部20チーム
- 出場資格：
 - 出場資格については次のように定める。
 - D-1Gの部
所属都道府県協会により締め切り日までに推薦を受けたチーム。予選会の有無は問わない。
 - 第9回大会での推薦実績を持つ都道府県協会
推薦可能（推薦チーム決定方法は問わないが枠数は変動の可能性あり。）
 - 第9回大会での推薦実績が無い都道府県協会
推薦を希望する場合は、第8回大会までの推薦状況等を基に日本協会にて枠を決定
各締め切り日については改めて加盟協会を通じて連絡する。
 - S-1Gの部
 - ①基本枠 各シニアチャンピオンシップ（以下、予選大会）女子の部から推薦される2チーム
 - ②追加枠 前回大会における優勝チーム輩出ブロックに1チームなお、20チームに満たない場合は予選参加チーム数を参考に日本協会が推薦する場合がある。
 - 出場チームについては期日までに所定の登録を行わなければならない。
 - D-1Gの部
エントリー期限までにJDBA D-1Gチーム登録とJDBAチームサイトの大会エントリーを完了していること。
 - S-1Gの部
エントリー期限までにJDBA S-1Gチーム登録及びチーム役員・競技者を登録し、全国大会への大会エントリーを完了していること。
予選会当日までにエントリー選手全員が競技者登録（中学生競技者登録・一般競技者登録）を完了させていること。
登録選手は競技者登録が完了している証（個人会員証）を携帯し、主催者の求めに応じて呈示しなければならない。
 - 出場にあたっては、選手・指導者全員がスポーツ安全保険またはそれに類する保険に加入していること。
 - 原則として、出場チームは開会式から閉会式までの間に行われる試合・プログラムに参加すること。
 - 指導者資格の取扱いについて
 - D-1Gの部/S-1Gの部 当日ベンチ入りするチーム役員全員が「C級指導員・B級指導員・A級指導員（日本スポーツ協会ドッジボールコーチ1）」（以下、公認指導者）のいずれかの有効な資格を取得し、且つ、内1名以上がA級もしくはB級指導員資格取得者であること
 - ベンチ入りチーム役員の構成が上記を満たさなくなった時点でその相手チームを不戦勝とする。ただし例外として、S-1Gにおいて、当該公認指導者が選手を兼任し、コート内でプレイ中のため生じるベンチ不在は除く。
- 競技方法：
 - 共通事項
 - 今大会使用球は、次のとおりとする。
 - S-1Gの部 ミカサ製 公認試合球(DB-350B-YLB)、モルテン製 公認試合球(D3C5000-YC)
 - D-1Gの部 ミカサ製 公認試合球(MGJDB-L)、モルテン製 公認試合球(D3C5000-L)
 - 試合は予選リーグを経て、決勝トーナメント方式で行う。
 - 予選は勝ち点制を採用し、各リーグ上位2チームが決勝トーナメントへ進出する。勝ち点は勝ちを2点・引き分けを1点、負けを0点とする。勝ち点の合計点数が同じ場合、
 - 各試合終了時の味方内野人数合計が多いチーム
 - 直接対決の勝者
 - 各試合終了時の相手内野人数合計が少ないチーム該当チーム間において、上記①, ②, ③の順で判断をし、順位を決定する。それでも決まらない場合は決定戦を行う。（決定戦は決勝トーナメントに進出するチームが決定しない場合のみ行う。）
 - 出場チーム数に応じ、ワイルドカード制を適用することがある。その際の決定方法は勝ち点の上位の順とするが、

勝ち点の合計が同じ場合、該当チーム間において、下記ア、イ、ウの順で判断をし、ワイルドカードチームを決定する。

- ア 各試合終了時の味方内野人数合計が多いチーム
- イ 各試合終了時の相手内野人数合計が少ないチーム
- ウ 決定戦を行う

なお決定戦は、実行委員会が定めた方式により実施する。

- ・試合はすべてランニングタイム制で実施をし、予選リーグと決勝トーナメント準決勝までは5分間1セットマッチで行う。決勝戦は5分間3セットマッチで行う。
- ・本大会は3位決定戦は実施しない。

➤ D-1Gの部

一般財団法人日本ドッジボール協会公式ルールに則って競技を運営する。

➤ S-1Gの部

1チーム8～20名とし、試合は8人制で行う（他監督・コーチ・マネージャーで最大3名、チーム役員が選手を兼任する場合であっても20名の枠内に含まれる必要がある。試合中に必ず監督代行者の成人がプレイヤーズベンチにいないといけない）

競技運営は一般財団法人日本ドッジボール協会公式ルールを基にし、別紙『2023年度版シニアカテゴリーレギュレーション』に則って行う。

9. コート：D-1G・S-1Gともに内野10m外野3mの小学生オフィシャルサイズの全面カラーコートで競技を行う。

10. ユニフォーム：

➤ D-1Gの部

今回はユニフォーム規定の対象としない。但し、選手全員が統一の服装・選手番号表示でなければならない。予選大会においても同様の取り扱いとする。

➤ S-1Gの部

選手全員が統一のシャツとパンツを着用すること。

- わずかな表示物の異なりや、同色・同形のパンツにおける製品の異なりについては、統一とみなす。
- シャツの前面及び背面には、必ず選手番号を表示する。

※いずれの場合においても、ピブスの貸し出しは一切行わない。

11. 大会参加料：

D-1Gの部／S-1Gの部ともに大会参加料1チーム45,000円を事前に定められた方法で納入する。

12. 大会申込：

➤ D-1Gの部

JDBAチームサイトから、大会エントリーを所属協会の定める期限内に行うこと。大会エントリー選手の変更は期限後は一切行うことはできない。

➤ S-1Gの部

エントリーする予選大会の要項に従って、大会参加申込書・大会エントリーメンバー表を期限内に提出すること。（JDBAチームサイト（S-1G）カテゴリーでのチーム登録を試験運用しています。予選大会主催者との合意が取れる場合はご利用ください）

※D-1Gの部、S-1Gの部ともにチーム役員の変更（入れ替え）がある場合は、大会の2週間前までに所定の手続きを行うこと。

13. その他：

- 大会参加にあたっては、選手の健康管理に充分留意してください。競技中に選手が負傷した場合、会場に於いて応急処置をいたしますが、主催者はその後の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。また、大会会場までの往復中の事故等についても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ベンチ入りチーム役員の本人確認と公認指導者資格確認について
 - 参加チーム代表者あてに、本人写真付きのチーム役員パスを送付します。（本人写真データは、各チームからの報告事項報告時に送信頂きますので、予めご了承ください。）
 - 確認ができない場合はアリーナに入れませんので、出場決定後にお届けする代表者あて書類と合わせて確認し、当日は必ず携帯するようご注意ください。
- 本大会で撮影した写真・映像は大会のポスター・チラシ・プログラム・CM・VTR・インターネット等に使用する場合がございませぬ。また、ご登録情報について、本大会協賛・協力企業にお知らせする場合がございます。予めご了承ください。

【2023年10月21日更新】